

コミュニティ くま

私と人とまちの間に

2026.JAN
146号

1

編集発行

公益財団法人 草津市コミュニティ事業団

もくじ CONTENTS

FEATURE

あのワクワクを子どもたちに。

- 2 走れ! かきぐるカー NPO法人 うごくずこうしつ
- 4 川は、ギョ〇〇ギョ〇〇ギョ〇!? であふれてる くさつ de ギョギョ魚
- 6 まち語り 一枚の写真
- 7 ご近所まんが くさつがわ家とお隣さん ~これって、みんなの問題~
- 8 もじうめスッキリ
事業団からのお知らせ
ボイス

でっかく描いて!

「あ〜、これこれキミたち、人のクルマに落書きしちゃダメ〜!」。いえいえ、このクルマはいいんです。いや、むしろ、そのためのクルマ。かきぐるカー。なんともユニークですね。それにしても子どもたちの想像力・表現力には驚かされます。ぐるぐる・びゅんびゅん・によるよる…。さあ、みんな、でっかい絵を描いてね。かきぐるカーの誕生話は次頁へ。

あけましておめでとうございます。今年もご愛読お願いいたします。国入ボ障スボでスポーツに沸いた昨年に続き、今年も熱い一年に。冬季五輪に世界野球WBCそしてサッカーW杯が開催。秋にはアジアパラ競技大会が名古屋で開かれます。世界水準のスポーツが楽しめる2026年。今から「推し」の選手やチームをつくっておくとさらに熱くなれること請け合いですね。

子どものころに夢中になったアソビ、って誰にでもあるもの。

でも、大人になると日常の忙しさに追われて、そんな思い出もすっかり忘れてしまっている毎日。

ところが、何かのきっかけで「ふと、思い出す」なんて経験したことはありませんか。きっとその情景は幼い日の思い出というだけでなく、あなたを形作った原点の一つ。

草津には子どもたちに、そんな夢中になる「あそびじかん」を創ってくれる大人がたくさんいます。

さぁ子どもたち、大きな絵を描いてみよう！川に行ってみよう！



FEATURE

走れ！かきくるカー

NPO法人「びくびくずいっしゅ」

代表 村井優紀さん(32歳)

草津市コミュニティ事業団
ひとキラ 助成
まち 2025

子どもの頃、お絵かきやラクガキに夢中になったこと、覚えていますか？
落書き帳や画用紙に、チラシや折り紙の裏に、教室の黒板に。中には道にケンケンパや迷路、長い線路を描いて遊んだ…なんて人もいるのでは。どこに描こうが、なにを描こうが、「どうしてあんなに楽しかったんだろう」「ついでにうくらしい夢中になったものです。今、あの楽しさを子どもたちに届けてくれる夢のクルマが、ここ草津を走っています。明日はあなたのまちにやってくるかもしれない。

子どもに囲まれるクルマ

「前から見たらクルマ、横から見たら黒板、これなんなんだ？」
真剣に考えてくれたあなた、すみません、残念ながらもなぞなぞじゃありません。実はこれ、ホントにあるクルマ。

キラリエで、de愛ひろばで、口クハ公園で、と市内のあちろちろのイベントに駆けつけては、子どもたちの笑顔に囲まれるクルマです。

その名も「かきくるカー」。軽トラの荷台三面に大きな黒板が付いたなんとユニークなクルマです。黒板いっぱい描かれた子どもたちのチョーク絵が良いくセントになって、元氣も愛くるしさも倍増。

この「かきくるカー」を運転？いや運営するのはNPO法人う

ごくずこうしゅ。中心となる村井優紀さんと柴山里穂さんは元小学校の先生なんだとか。うん、興味津々です。代表の村井さんにお話を聞きました。

移動型ずこうしゅ

団体名でもある「うごくずこうしゅ」とはその名の通り移動型の図工室。画材や材料をつんであなたの街までやってきます。かわい「かきくるカー」で駆けつけ、クルマに乗せた黒板や地面におもいつきお絵かきできます。そしてもう一つ。ものづくりや

工作を楽しむのが「かきくるカー」です。廃材などをリメイクしてのものづくり・工作、絵の具遊びやチョークアートのプチ体験なんかも人気です。大人までワクワクしますね。村井さんと柴山さんはチョークアートでお店

の看板などを描いたり、イベントではライブパフォーマンスまでこなすチョークアーティストでもあります。スゴい。

お絵かき大好き子

そんな村井さんは草津で生まれ育ちました。もちろん、小さなころからものづくりや絵を描くのが大好き。

「外で遊ぶのも好きでしたが、お絵かきしたり、ダンボールハウスで遊んだり、とにかく何かをつくるのに夢中な子でした(笑)。絵は見るもの、思いつくもの、なんでも描いてました。描いたら家族に見せるんです。すると、褒めてくれるもんだから、また嬉しくなっちゃって(笑)」

お絵かき大好き少女はすくす





村井優紀さん

く育ち、大学生になりました。その頃に興味を持ったのが、子どもたちの居場所をつくるNPOの活動。体験や表現活動、夏には子どもたちを連れたキャンプなんかも企画しました。学校でも家でもない居場所での、のびのび自分の時間は貴重な経験となり、少女は教師の道へと歩んだのでした。

アートって、スゴいな！

9年間の教師生活で忘れられない経験があるという村井さん。それは特別支援学級を受けもつた時のこと。

「その児童は、踊ったり絵を描いたりして自分を表現することが大好きだったんです。ただ、自分の気持ちを言葉で伝えることが少し苦手で…。学年が上がるにつれて同級生との関わりも減ってしまっていて。彼女の思いや表現をみんなにも知ってほしいと

思っ、これまで描きためてきた作品を集めて、校内で個展を開いたんです」

結果は村井さんの想像をも超えていました。クラスの友だちはもちろん、他学年の友だちも作品を覗に来てくれ、「すごい！」「この作品がすき！」「自然にながりが生まれていました。その中心には、にっこり嬉しそうな彼女の姿。また、親御さんも自分の子の表現に驚き、そして大変喜んでくれたのだとか。

「たとえ言葉にすることが苦手でも、絵で自分の思いや自身を表現した彼女の姿に、アトに秘められた力を再認識した気持ちでした。アートってやっぱりいいなって(笑)」

誕生！かきくるカー

忙しく教師の仕事に追われる日々。大学時代の居場所活動や特別支援学級での経験から「それぞれの子にあつたカリキュラムを」と考えていた村井さんですが、当然、学校には色々な制限もあつて難しいのも事実。

そのころ、教師仲間でも近かった柴山さんと居酒屋でたくさん話したのだとか。「子どもの居場所をどこかに

作るより、こつちが会いに行くっていうのは？」「どうやって？」「クルマで…とか？」「そういえば、おしいちゃんの軽トラが使えるかも！」「軽トラに黒板つけるのとかどう？」「いいね、それ！」

なんと、こんな感じで「かきくるカー」は生まれたのだとか。その時にサラサラと描いた絵が今も「かきくるカー」のイメージとして使われています(P2上)

体よりも大きな絵

今日も「かきくるカー」は子どもたちの人気者。まったくイメージ画のとおりです。黒板や*道路に子どもたちは夢中でお絵かき中。昔と違って今は道路での落書きもできないですよ。自分の体よりも大きな絵を描ける場所ってなかなかない。だから私たちは家でも学校でもないけど、安心して遊んでいいよって保障されている場所づくりをしたいな、って思っています」

みんなで一緒に

「うごくずこうしつ」はまた一歩、前進します。昨年10月にはNPO法人になりました。「活動できる場所を広げて、もつとたくさん子どもたちが

かきくるカー。とってもかわいいネーミングですね。「かきにいくよ! クルマで」「かきにおいでよ! クルマに」から付いたのだとか。かきくるカーは今日も草津のまちを走っています。



安心して笑い合えるようになって欲しいです。でも今の私たちの時間とお金ではほんの少ししか応えられなくて…。活動を手伝ってくれる人、イベントに呼んでくれる人、ご寄付や業務発注で協力いただける人など、より多くのおみなさんに関わってもらいやすいように、思いきってNPO法人になりました。みんなで一緒に子どもたちの笑顔を広げていけたら嬉しいです」



活動の様子は、えふえむ草津
草津市コミュニティ事業団提供
「くさつ☆コミュニTea Time!」
オンデマンド放送でもお聞きいただけます。
第72回 2025年9月放送



*許可なく道路に落書きすることは法律違反や近所迷惑となります。「うごくずこうしつ」が提供する路面でのチョーク遊びは十分に安全に配慮した上で主催者や管理者の許可を得て実施しているものです。また、消せるチョークを使ってイベント後には現状復旧するので安心して遊んでいただけます。



NPO法人 うごくずこうしつ
HP Instagram



川は、ギョギョギョ!? であふれてる

くさつ de んぎょ魚

鈴木剛志さん(53歳)

濱道秀さん(57歳)

西井真敏さん(55歳)

草津市コミュニティ事業団

ひとまち助成

2024

あなたが最後に川に入ったのって、いつですか？

水の冷たさ、タモをすくうときのドキドキ、魚を捕まえた時の喜び、手に残る鼓動の感触……今でも覚えていますか。

私たちの生活から川が遠い存在になりつつある今、子どもたちに川でのギョギョとする驚きと感動を伝えてくれるおじさんたちがいます。

「くさつ de んぎょ魚」。おじさんたちは今日もどこかの川で、子どもたちと一緒にです。



じゃ、川に集合

11月中旬の午後

3時。駒井沢町を流れる中ノ井川に

小学生とそのママ

たちが集まってきた。出迎える

のは50代のおじさ

ん3人組。ライフジャケットと釣

竿を渡された子どもたちに「餌

をつければ川に垂らしてみ

て。竿は立ててね」。おじさ

んたちの説明に子どもたちは、おそ

るおそる糸を垂らし始めました。

「釣りはその人の性格が出る」

と言われるとおり、辛抱強く同

じ場所待って子、すぐに飽きてし

まう子などマチマチ。最初は覚束

ない足取りで川辺を歩いてた子

は慣れてきたのか、器用に走りな

がらマメに場所を変えています。



「釣れた〜!」と告げにきた子

を合図に、あちらこちらで魚が

上がりだしました。モロコ・ヨシ

ノボリ・ドジョウ……バケツの

中が魚で賑わっていきます。

釣れたら我がことのように喜

び、釣れない子には一緒に糸を垂

れてくれる、3人のおじさんたち

「くさつ de んぎょ魚」の鈴木

さん、濱道さん、西井さんです。

魚はいるのに、子どもがいない

代表の鈴木さんは草津で生ま

れ育ちました。子どもの頃の遊

び場はもちろん川。

「学校が終わったらランドセル

を置くや否や葉山川や伊佐々川

に入って友だちと遊んでました。

剣道やサッカーもしたけど、やつ

ぱり川が一番でしたね」

濱道さんは北海道生まれ。縁

あつて20年前に草津に越してき

ました。

「父の影響で小さいころから

川で溪流釣りをしました。そ

のせいか、魚が大好きで草津に

来ても琵琶湖博物館で魚の勉

強や調査をするボランティアも

しています」

そんな2人が出会ったのは濱

道さんがマスターを勤めるバー

に鈴木さんが飲みに来たこ

と。「すぐその川に鮎が

いたよ」。魚好き川好き

の2人はお魚談議で盛り

上がったのだとか。酒の肴

は魚の料理でなく、魚の話

だったのですね。

鈴木さんです。「大人になつた

今でも、川を見かけると橋の欄

干からジッと川の流れを眺め

てしまふのがクセなんです。周

りから見ればさぞ不審でしょう

ね(笑)。まちなかの川にも魚は

ちゃんとして、慣れると泳いで

いる姿が橋の上からも見えるん

です。それで、ふと気づきました。

川に魚はいるのに、子どもの姿が

ないなって」

濱道さんが続けます。

「今の子どもたちは塾や習い

事で忙しいでしょ。親御さんも働

く人が多くて時間の余裕が少な

くなっています。それに、川は子

どもたちだけで行くのは危険だ

と言っで、川に入れないし遊ぶ

こともできない。子どもたちと

川の距離はどんどん離れてい

っています」

そこで「親御さんが連れてい

けないなら、僕らが連れて行け

ば」



いいじゃないか」と話がまとまっ

たのだとか。以前から知り合い

だった同じく魚好きの西井さん

も加わり、かつての川ガキだった

3人の活動「くさつ de んぎょ

魚」が始まりました。

ぎょぎょ魚

それにしても「ぎょぎょ魚」と

はユニークな名前です。

「発見のぎょ、驚きのぎょ、魚

のぎょ、から付けました(笑)。川

に行くとき毎回、ギョギョッとす

るような発見や体験があります。

子どものころ、川で草むらの下な

んかを網ですくうと、ギョッとす

る生き物なんかを見つけたりし

てね。そんなドキドキやワクワク

を子どもたちに体験してもら

いたい」と鈴木さん。

今、ぎょぎょ魚は月2回のペー

スで子どもたちと自然体験をし

て

ています。

「5〜10月くらいは川に入って魚とり。夏にはエリ漁の船に乗せてもらうなど琵琶湖ならではの体験もします。川の水が冷たい春は山菜取り、冬にはプチキャンプと年中、子どもたちと外遊びしています」と鈴木さん。

「草津は琵琶湖や里山もある自然に恵まれたところ。山まで行かなくても、川の少し上流の堤防なら山菜もあるんですよ」と濱道さん。

草津でお宝発見

川遊びと並んでぎょうぎょ魚の大切な活動が川の生き物調査です。市内で魚とり体験をしながら、どこの川にどんな魚が生息しているのか、マップを作っているのだとか。

鈴木さんです。「2時より水はきれいになってきてますが、40年前と比べると魚の種類は減ってますね。タナゴなんかも見かけ



鈴木さんは言います。

川で学ぶ、川に学ぶ

「川ってだいたい、左右が堤防になつて一段低くなつてるでしょ。周りと遮られるから意外と集中しやすい空間なんです。ここで子どもたちにはたくさんのかたとを知ってほしい。水の冷たさ、葉っぱで手が切れてしまうこと、川に落ちると大変なこと、命を粗末にしないこと……。」

行政の皆さんにはぜひ伝えたいですね。川の声を聞いていますか？つて。コンクリート三面張り管理上仕方ないことも知れませんが、未来の草津に住む人々のためにも貴重な自然や生態系をどう守っていくのか、生き物をどう増やしていくのか、市民全員で考えていかなければいけないと思います」

背筋が伸びました。子どもたちにも、ふるさととなる川の姿を残すのは、私たちみんなの役目ですね。

「川つてだいたい、左右が堤防になつて一段低くなつてるでしょ。周りと遮られるから意外と集中しやすい空間なんです。ここで子どもたちにはたくさんのかたとを知ってほしい。水の冷たさ、葉っぱで手が切れてしまうこと、川に落ちると大変なこと、命を粗末にしないこと……。」

自然の中で自分自身の身を守ったり、危険を察知して回避するなど貴重な経験を積める場所です。子どものうちに経験しておくべきことはたくさんあります。川は危険な場所と過敏になつて極端に遠ざけてしまうのもどうかと思います。そのうち子どもだけで自転車や釣りにきてくれたらいいなあ」

私の子育て

2人は活動への想いを語ってくれました。

「子どもって昔も今も変わりませんよ。楽しければ笑顔ではっ

ちゃけてる(笑)。私たちは実際の子育てこそ経験はありませんが、子育てしているつもりで子どもたちと川にいます。だから危ないことをしたら叱るし、良いことをしたら誉める、それだけです。私たちも子どもころは近所の大人によく怒られたもの。昔はそんな大人がいつばいいてくれました。

とは言うものの、3人が川で子どもたちを見守るのは今の人数が限界なのだから。ぎょうぎょ魚は今、一緒に活動をしてくれるメンバーを募集中！
あなたも草津でギョギョギョな体験と感動を味わいませんか？
かつての川ガキさんも川の初心者さんも、お待ちしております。

鈴木剛志さん

濱道秀さん



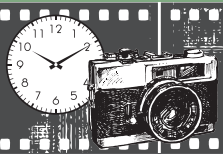
◀くさつ de りょうりょ魚



活動の様子は、えふえむ草津
草津市コミュニティ事業団提供
「くさつ☆コミュニティTea Time!」
オンデマンド放送でもお聞きいただけます。
第55回 2024年4月放送



まち語り 一枚の写真



まちのあらゆる場面で培われてきたコミュニティの形。その一瞬を捉えた一枚の写真から「これから、のコミュニティを見つめます。」

木造2階建ての 草津市役所

現在の草津市役所庁舎は、平成4年(1992)5月に新築され築34年を迎える8階建ての建物です。それ以前は、昭和33年(1958)に建築され、昭和47年(1972)に増築された庁舎が現庁舎の隣接地にありました。

今回の「一枚の写真」はさらに前の時代のもので、昭和29年10月に1町5村(草津町、志津村、老上村、山田村、笠縫村、常盤村)が合併し「草津市」が誕生した当時の市役所の様子です。

この建物は合併前の草津町役場をそのまま使用しており、木造2階建ての入口に「草津市役所」の看板が掛けられている点に、時の移ろいを感じさせます。当時はこれに加え、各村の旧役場をそれぞれ支所として利用し、行政運営を始めました。

写真の場所は現在の市役所にほど近い市道沿いに位置し、民間会社の所有地となっています。旧東海道には面していませんが、江戸時代にはこのあたりに草津村の年貢米などを蓄えておく「郷蔵」や「文書蔵」などの共有地がありました。江戸時代から長く公共の土地として引き継がれた背景があったのです。

文 草津宿街道交流館



ひとまちキラリ2025

まちづくり活動助成採択団体・イキイキ活動賞授賞 決定!



草津市コミュニティ事業団では市民による自主的・公益的なまちづくり活動提案に助成しています。今年度は次の7団体への助成が決まりました。また長年にわたりコツコツとこれまで続けてこられた活動に「ありがとう」の気持ちを伝える活動賞も授賞団体が決まりました。

ひとまちキラリ助成

はじめの
いっぽ

- 気まぐれグラン・マ
- じもと食堂U-LAB.クラブ
- 親子音楽サークルわんだふる

そのさき
いっぽ

- スマイルリング
- potential
- 認定NPO法人くさつ未来プロジェクト(KMP)

いっしょに
いっぽ

- 草津市災害ボランティアコーディネーター会
- ×
- NPO法人しがいち防災研究所

イキイキ活動賞

いいね!
地元の力

- ゆうゆう老上

なるほど!
市民活動

- 草津迷術会
- よし笛サークル 紫音



草津迷術会



じもと食堂U-LAB.クラブ

問合せ (公財)草津市コミュニティ事業団 草津市大路二丁目1-35 キラリエ草津5F

TEL 565-0477 FAX 565-0411 HP まちサボくさつ <https://www.kusatsu-spp.net/>

SUMAIDIA SDGs

環境のために、社会のために、私たちができること。

スマイディア(旧:スマイ印刷)は、「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同します。

「関わる全ての人をSMILEに」という理念のもと、事業活動と社会貢献活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献します。

SUMAIDIA 株式会社 スマイディア (旧:株式会社スマイ印刷)

sumaidia.jp [@sumaidia_jp](https://twitter.com/sumaidia_jp)

株式会社 三井田商事

経営理念 迅速・確実・親切

弊社は2019年度からSDGsへの取組をスタートさせ、それを基盤にして社会貢献を通じて地域から愛される企業に成長していきます。清掃活動等で弊社社員は地域の皆様に大きな声で挨拶をします。

また、弊社は61周年を迎え、改めて今後も永続的に地域の皆様と共に成長していきたいと考えております。

滋賀営業所 / 〒525-0050 滋賀県草津市南草津2丁目7-16

TEL:077-598-1611 FAX:077-598-1651

ご近所まんが

くさつがわ家とお隣さん ～これって、みんなの問題～

かれこれ40年の「ふれあいタウン」。
どこにでもあるようなこの町で、今日も繰り広げられる
今ドキご近所のちょっとこなれた毎日。
楽しくも少し考えてしまう。
もしかして…これって、みんなの問題かも。

他のおはなし▶



見なかったことに…



さく・com-com / え・まんじゅう

第3回

子育て応援 フェスタ

2026 **2.21** (sat)
9:30 - 13:00

会場 キラリエ草津 5F・6F
草津市立市民総合交流センター
(JR草津駅から徒歩約5分)

出会いとつながりで子育てを応援!

マルシェ・ワークショップ・体験ブース・スタンプラリー
など親子で楽しめる企画が盛りだくさん。

“草津市”と子育て支援団体まちのコミュニティハブ
ツナグが協働で開催する子どもの成長と子育て家族を
応援するイベント。

ぜひご家族でお越しください。



子育て応援フェスタ(第1回)動画



詳しくはコチラ

地域の架け橋
コミュニティ
コミニタス



コミニタス
comini+

草津市周辺の子育て中の女性が集まった地域密着コミュニティ。
私たちが、地域女性と企業・行政の懸け橋となります。



Address

〒525-0032
滋賀県草津市大路
1-4-12
大丸ソイビル202号室

ホームページ



読売新聞



今こそ新聞を読む



読売センター草津西 / 有限会社 雄

〒525-0029 滋賀県草津市下笠町 1306-2 TEL:077-568-1165 FAX:077-568-3205

ホームページは、[読売センター草津西](#)で検索! または、今すぐ右のQRコードにアクセス!





草津のまちづくりを応援!!
まちサポくさつ



コミュニティくさつ 2026年1月号

コミュニティ
くさつ

2026 JAN
146号

1

編集 公益財団法人 草津市コミュニティ事業団
〒525-0032 滋賀県草津市大路二丁目1番35号(キラリエ草津)
TEL 077-565-0477 FAX 077-565-0411
E com-com@mx.biwa.ne.jp HP https://www.kusatsu.or.jp

管理 草津クレアホール 564-5815 / 草津アミカホール 561-2345
ロクハ公園(草津市公園事務所) 564-3838
長寿の郷ロクハ荘 563-5021

【題字】中村明雄 【印刷】株式会社スライテック



3/8

草津歌劇団9期生 創作ミュージカル

わたしはみんなの なかのわたし

～障害のある人もない人も楽しめるミュージカル～

第2部 ミュージカルショー くさつ花めぐり

3月8日(日) A 11:00開演 B 14:30開演

草津クレアホール (草津市野路六丁目15-11)

入場料 おとな 1,000円(当日1,500円)/回

高校生以下 500円(当日1,000円)/回

※全席自由

問合せ・申込 草津アートセンター 9:00～17:00

T 561-6100 F 564-5851

☑ bunkahall@kusatsu-art.center 草津アートセンターHP



草津歌劇団
2025



もじうめスツキリ

寒さもあと少し。春がやってきます □に入る文字を考えてね。

問

・バレンタインデーのお返しに

ホ□イトデー

・草津ブランドにもなっている春野菜

琵琶湖元気アス□ラ

・さあ、今日からピカピカの1年生

にゆうが□しき

・お殿さまやお姫さまの時代行列もある

草津しゅく□まつり

・日ごろの感謝を伝えよう

は□のひ



応募方法

右の応募フォームから①答えの5文字②住所・氏名・年齢・電話番号③今号の感想を添えてご応募ください。ハガキ、FAX、メールでのご応募もお待ちしています。

応募フォーム



※切 1月30日(金) 必着

宛先

〒525-0032

草津市大路二丁目1番35号(キラリエ草津)

(公財)草津市コミュニティ事業団

「コミュニティくさつ1月号」係

☑ com-com@mx.biwa.ne.jp F 565-0411

プレゼント

応募いただいた中から抽選で、松利老舗(草津3丁目)で利用できる優待券(1,000円相当)を5名様にプレゼント



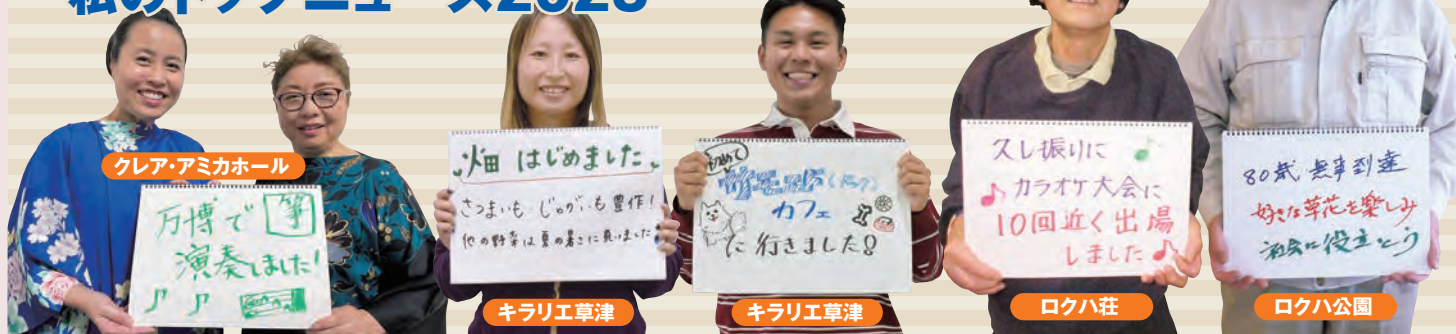
松利老舗HP▶



ポイズ

施設を利用するみんなの声と笑顔をお届けします。

私のトップニュース2025



クレア・アミカホール

万博で
演奏は
アミカ

キラリエ草津

火田 はじめました。
さつまいも、じゅうごも豊作!
他の野菜は夏の暑さに負けた

キラリエ草津

カフェ
に行きました!

ロクハ荘

又し振りに
カラオケ大会に
10回近く出場
しました!

ロクハ公園

80歳 無事到達
母は華を愛し
お祭に役主と

「コミュニティくさつ」の経費(企画編集、印刷、折込など)は1部あたり15円です。この経費は事業団が行う公共施設運営管理(指定管理)などの経費縮減などで得る独自の収益金のほか草津市からの補助、市民の皆さんからの寄付および本誌に掲載している企業等の広告でまかっています。

コミュニティ
くさつ